

(5) 基盤環境（河川物理環境情報図）

1) 調査目的

ダム撤去により環境が変化すると予測されるダム上・下流において、河川形態・河床材料の状況を把握することを目的とする。

2) 調査の時期・頻度

調査は、平成 27 年 3 月 17 日に実施した。

3) 調査方法

調査地点において踏査を行い、河川形態（早瀬、平瀬、淵）、河床材料（大石、石、礫、砂、砂泥、岩盤、テトラポッド）、陸域の状況（州、高水敷、斜面）の分布状況を地図情報として整理した。

また、水際や陸上部の代表地点に 50cm×50cm のコドラートを設置し、河床材の状況を把握するためにコドラート内を写真撮影した。

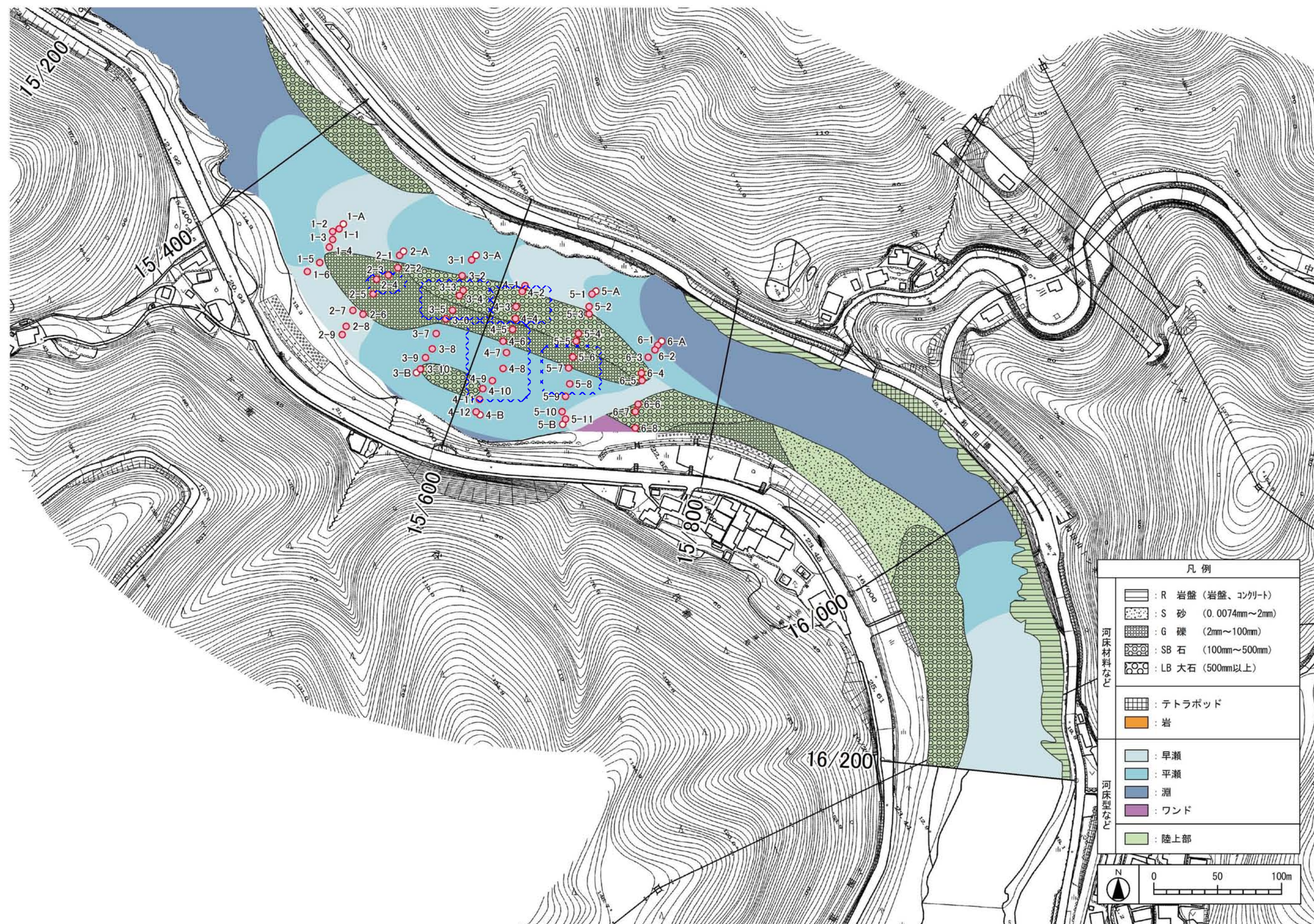
4) 調査地点

荒瀬ダム撤去において環境調査を実施する区域内（遙拝堰～瀬戸石ダム）で、流水環境の変化を考慮して 5 区間（下流流水区間、減水区間、百済木川湛水区間、荒瀬ダム湛水区間、上流流水区間）に分け、各区間内で 1 地点以上の次の 7 地点で調査を実施した。

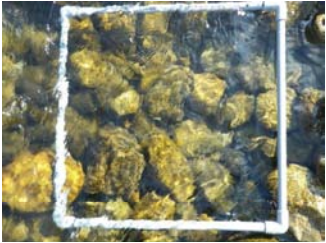
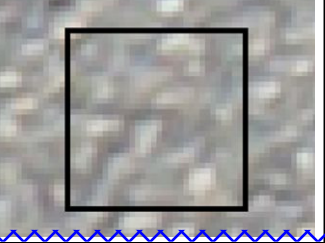
①下代瀬、②道の駅坂本、③荒瀬ダム百済木川流入部、④葉木、⑤与奈久、⑥西鎌瀬、⑦瀬戸石ダム下流



※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

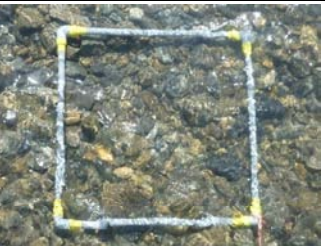
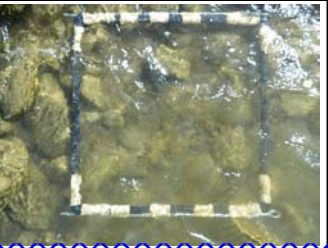
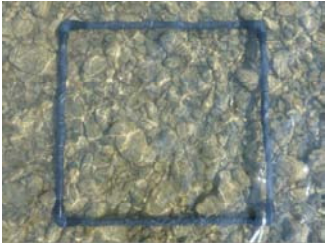


河川物理環境情報図（下代瀬）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H24.4	H26.3	H27.3
1-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	1-6		水深及び流速の増加により測定できなかった		
1-1		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	2-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった
1-2		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	2-1				
1-3		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	2-2				
1-4		水深及び流速の増加により測定できなかった			2-3				
1-5		水深及び流速の増加により測定できなかった			2-4		水深及び流速の増加により測定できなかった		

・ 2-4 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（下代瀬 1）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H24.4	H26.3	H27.3
2-5		水深及び流速の増加により測定できなかった			3-1		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった
2-6		水深及び流速の増加により測定できなかった			3-2				
2-7		水深及び流速の増加により測定できなかった			3-3				
2-8		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった	3-4				
2-9		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった	3-5				
3-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	3-6				

・ 3-3～3-5 : H24 年度→H25 年度で石礫間に砂分が堆積。H25 年度→H26 年度は砂分が抜け落ち、H23～24 年度の状態に戻った。

河床材料の変化（下代瀬 2）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H24.4	H26.3	H27.3
3-7		水深及び流速の増加により測定できなかった			4-2				
3-8		水深及び流速の増加により測定できなかった			4-3				
3-9		水深及び流速の増加により測定できなかった			4-4				
3-10		水深及び流速の増加により測定できなかった			4-5				
3-B		水深及び流速の増加により測定できなかった			4-6				
4-1					4-7		水深及び流速の増加により測定できなかった		

- ・ 4-2～4-4 : H25 年度→H26 年度で、石礫間に砂分が堆積。
- ・ 4-5～4-7 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（下代瀬 3）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H24.4	H26.3	H27.3
4-8		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-A		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった
4-9		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-1		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった
4-10		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-2		水深及び流速の増加により測定できなかった		
4-11		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-3				
4-12		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-4				
4-B		水深及び流速の増加により測定できなかった			5-5				

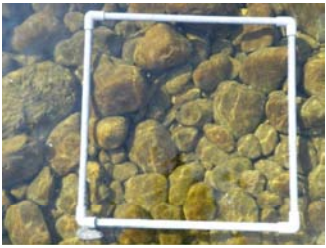
・ 4-8～4-10 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（下代瀬 4）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H24.4	H26.3	H27.3
5-6					5-B		水深及び流速の増加により測定できなかった		
5-7					6-A		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった
5-8		水深及び流速の増加により測定できなかった			6-1		水深及び流速の増加により測定できなかった		
5-9		水深及び流速の増加により測定できなかった			6-2		水深及び流速の増加により測定できなかった		
5-10		水深及び流速の増加により測定できなかった			6-3				
5-11		水深及び流速の増加により測定できなかった			6-4				

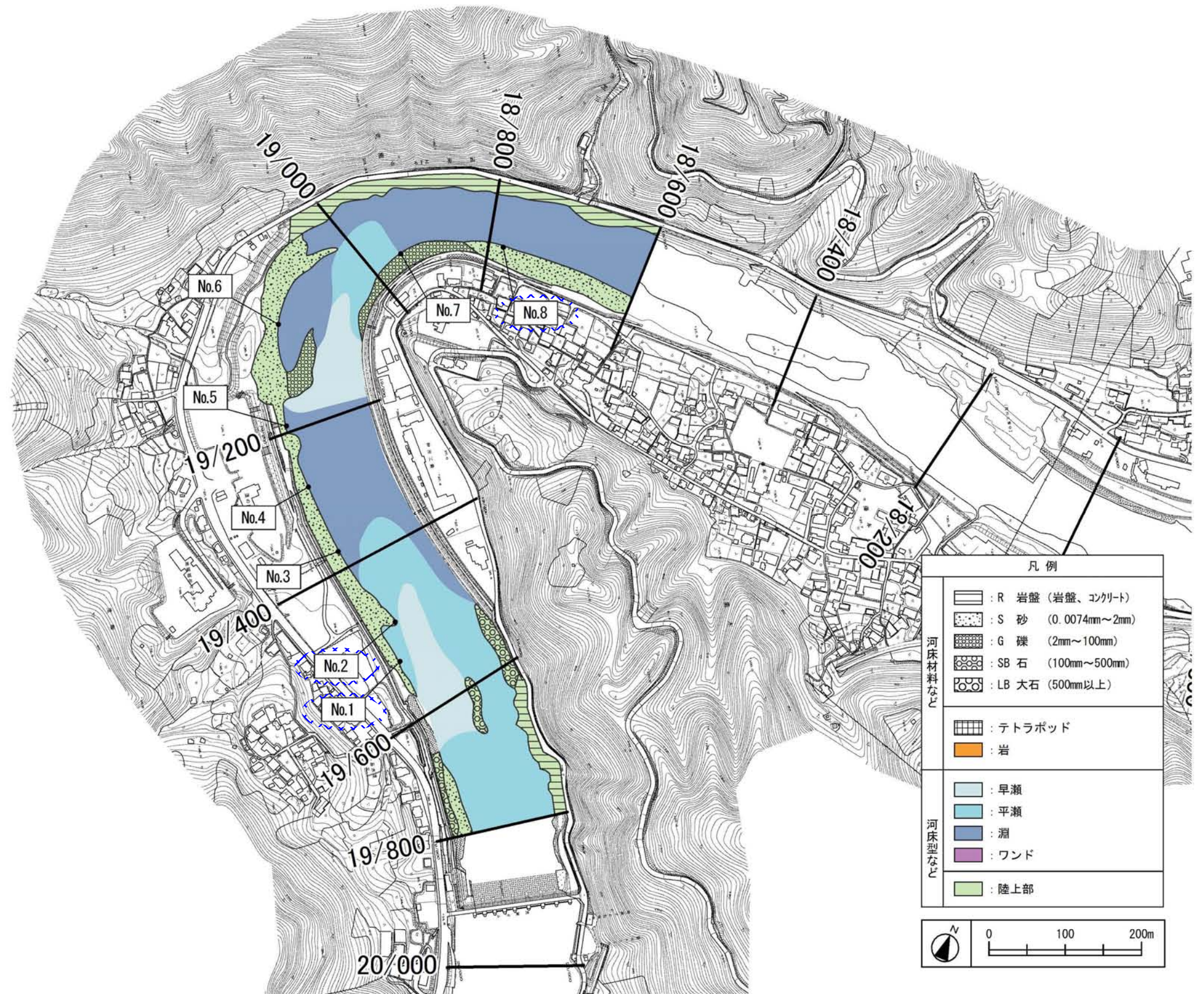
・ 5-6～5-8 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（下代瀬 5）

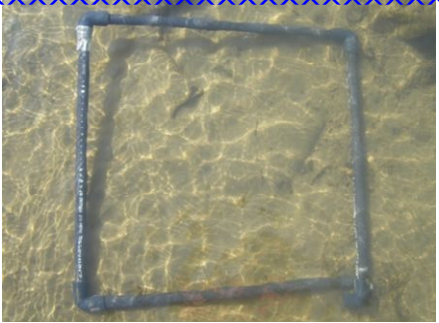
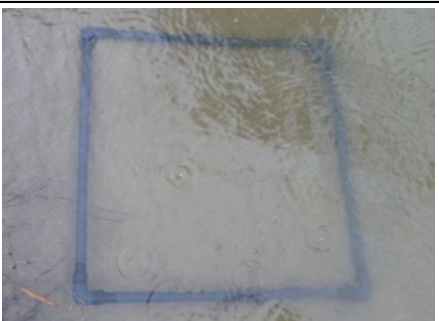
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3
6-5				
6-6		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった
6-7		水深及び流速の増加により測定できなかった		
6-8		水深及び流速の増加により測定できなかった		

・ H23 年度→H26 年度で大きな変化は見られなかった。

河床材料の変化（下代瀬 6）

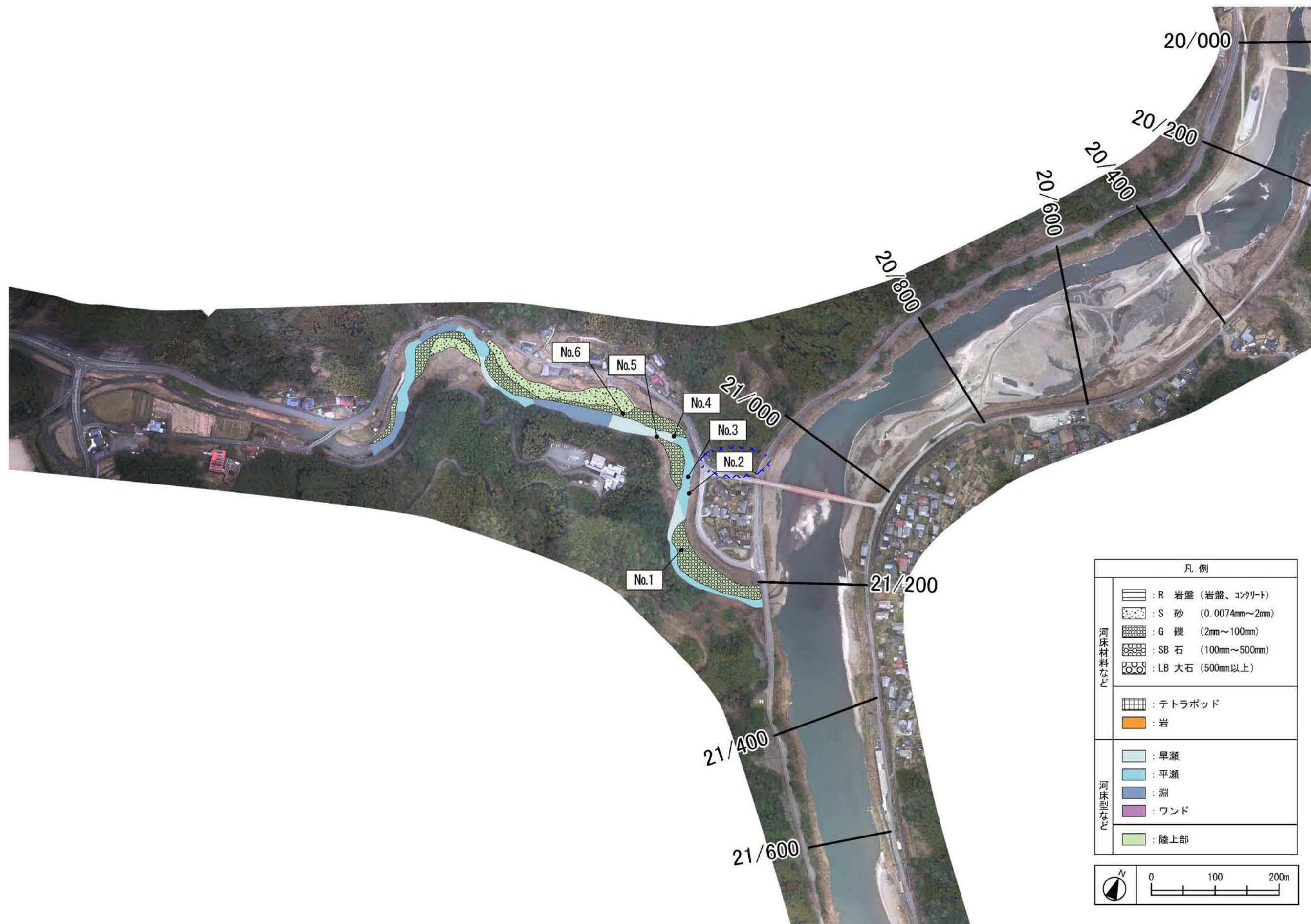


河川物理環境情報図 (道の駅坂本)

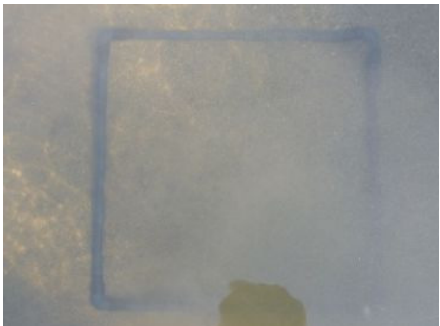
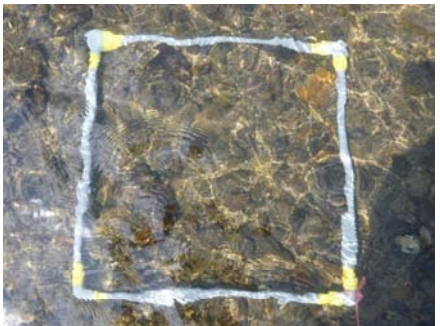
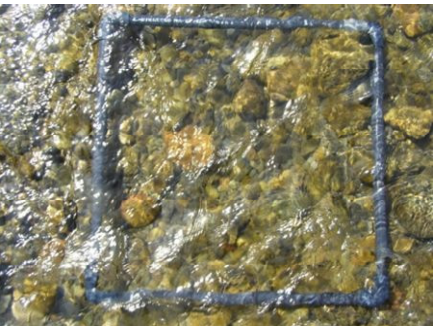
No.	H24.4	H26.3	H27.3	No.	H24.4	H26.3	H27.3
1				5			
2				6			
3				7			
4				8			

- ・ 1 : H25 年度→H26 年度で粗粒化。
- ・ 2 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。
- ・ 8 : H24 年度→H25 年度で細粒化（砂泥が堆積）したが、H25 年度→H26 年度で粗粒化し H23 年度の状態に戻った。

河床材料の変化（道の駅坂本）

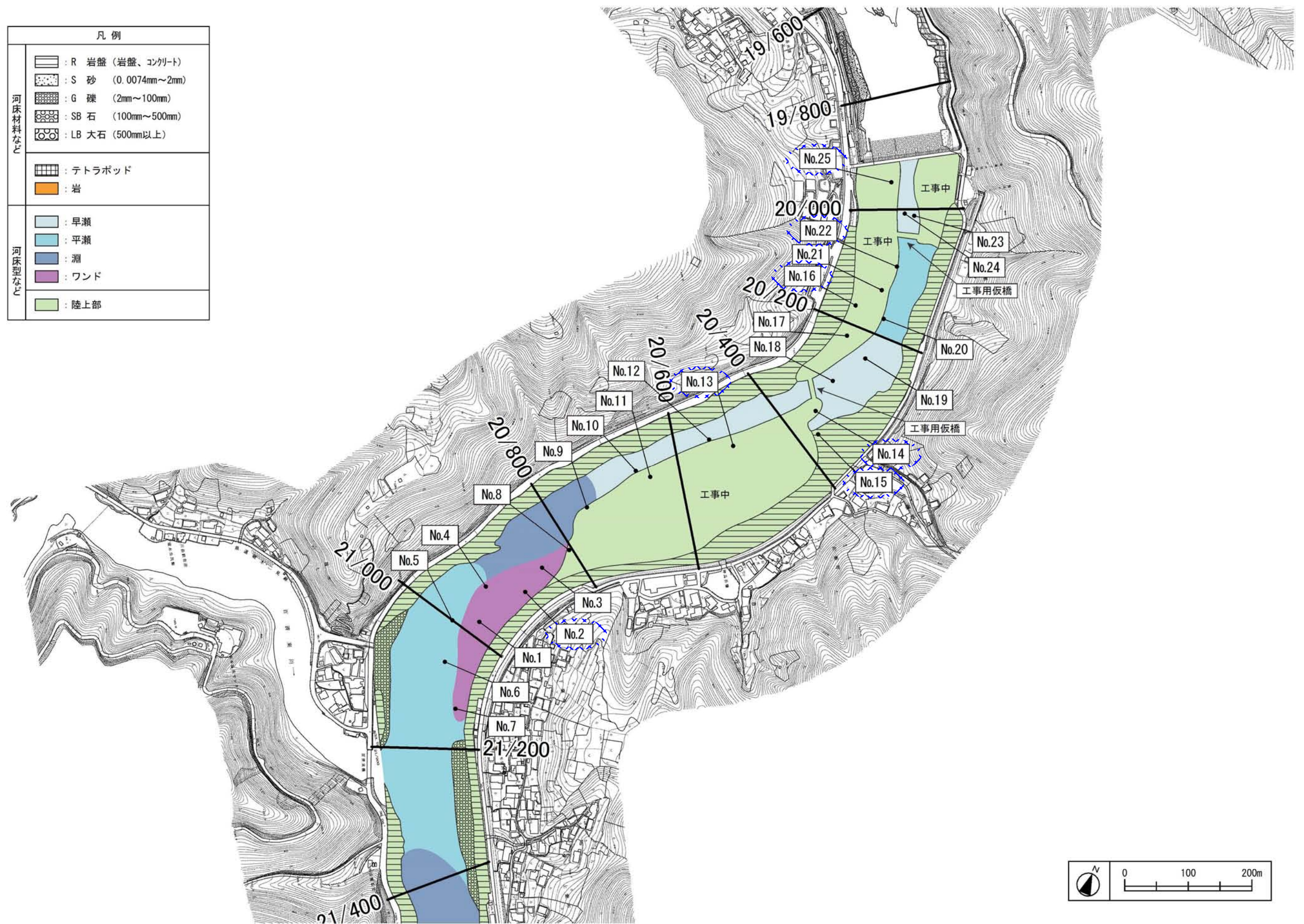


河川物理環境情報図（荒瀬ダム百済木川流入部）

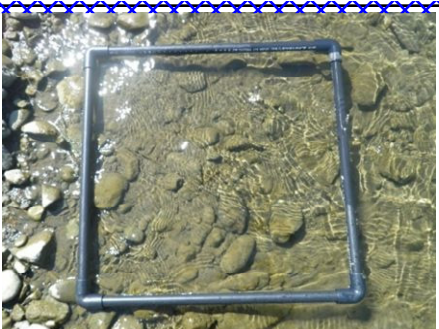
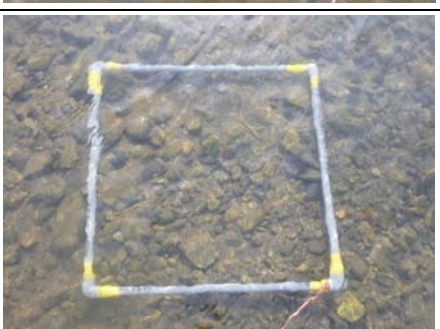
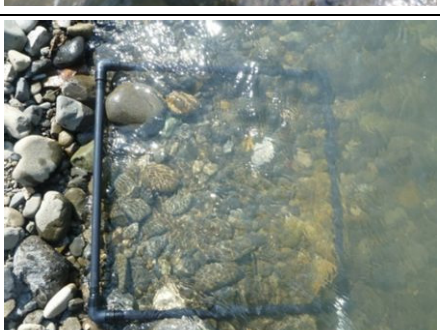
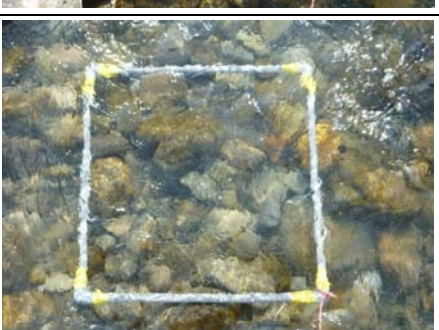
No.	H23.12	H26.3	H27.3	No.	H23.12	H26.3	H27.3
1				4			
2				5			
3				6			

・ 2 : H23 年度→H25 年度で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（荒瀬ダム百済木川流入部）



河川物理環境情報図（葉木）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	No.	H25.9	H26.3	H27.3
1				6			
2				7			
3				8			
4				9			
5				10			

・ 2 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で粗粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。

河床材料の変化（葉木 1）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	No.	H25.9	H26.3	H27.3
11				16			
12				17			
13				18			
14				19			
15				20			

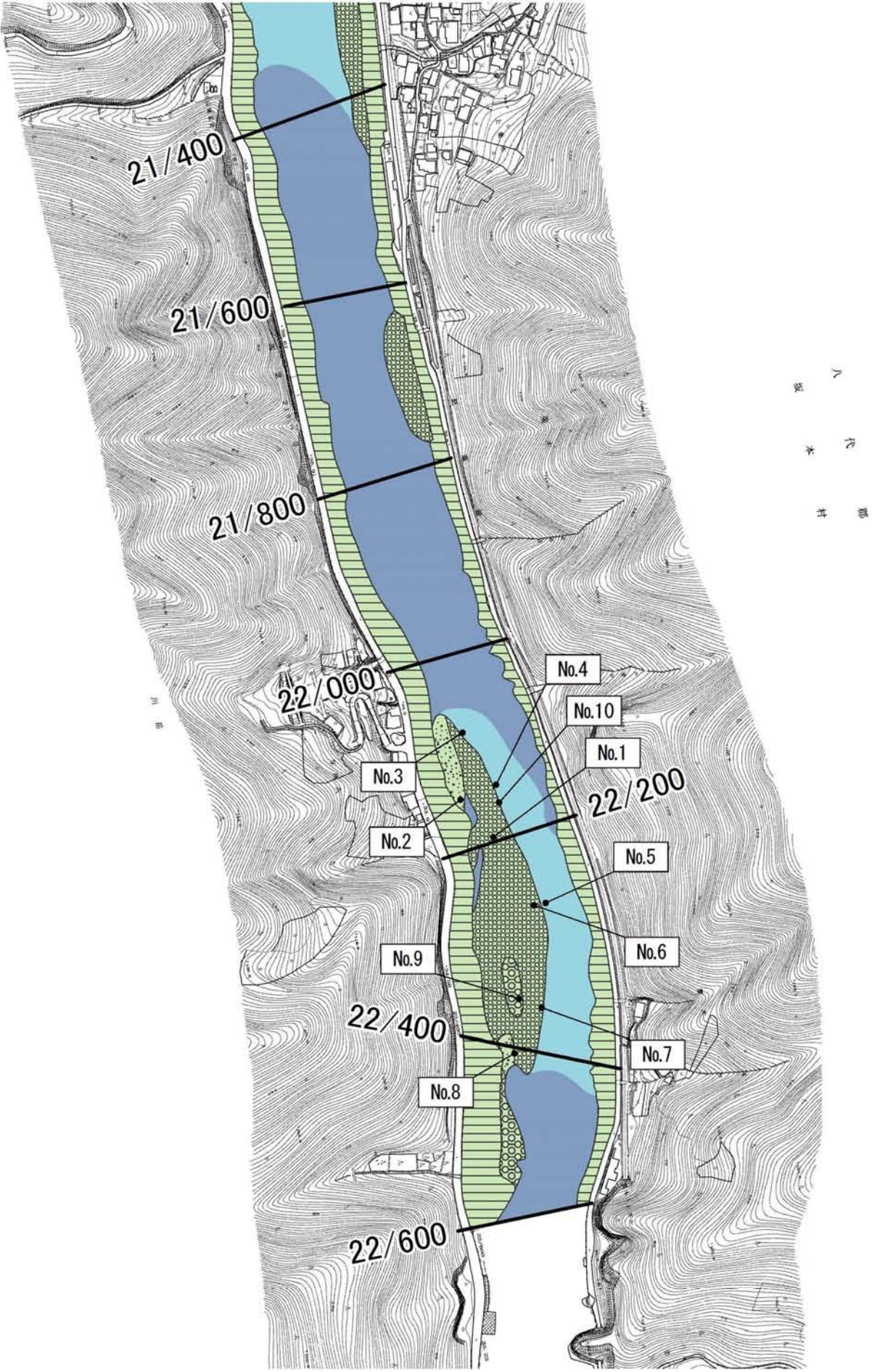
- ・ 13、14 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で粗粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。
- ・ 15 : H25 年度→H26 年度で粗粒化。
- ・ 16 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で細粒化したが、H25 年度→H26 年度で粗粒化し H25 年 9 月の状態に戻った。

河床材料の変化（葉木 2）

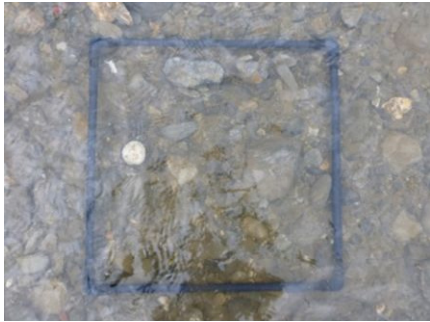
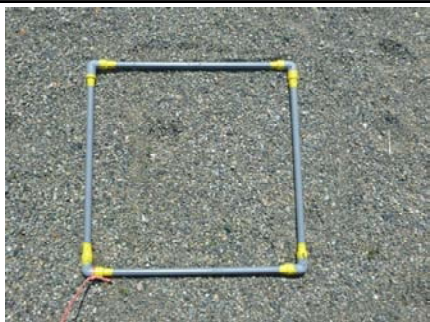
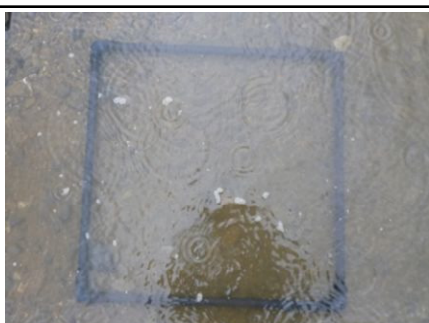
No.	H25.9	H26.3	H27.3
21			
22			
23			工事中のため測定不能
24		工事中のため測定不能	工事中のため測定不能
25			

- ・ 22 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で粗粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。
- ・ 25 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、細粒化の状態を維持。

河床材料の変化（葉木 3）

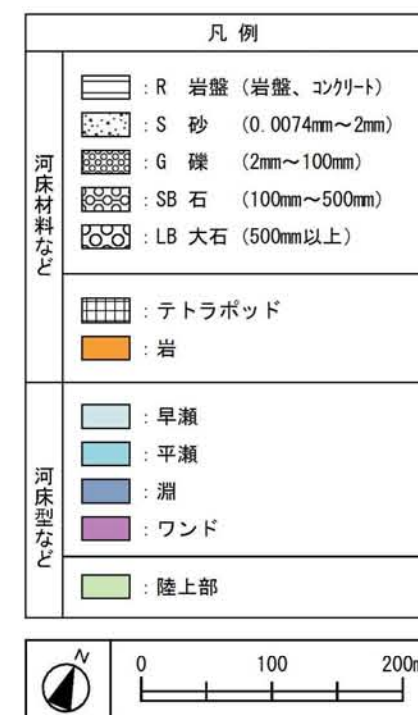
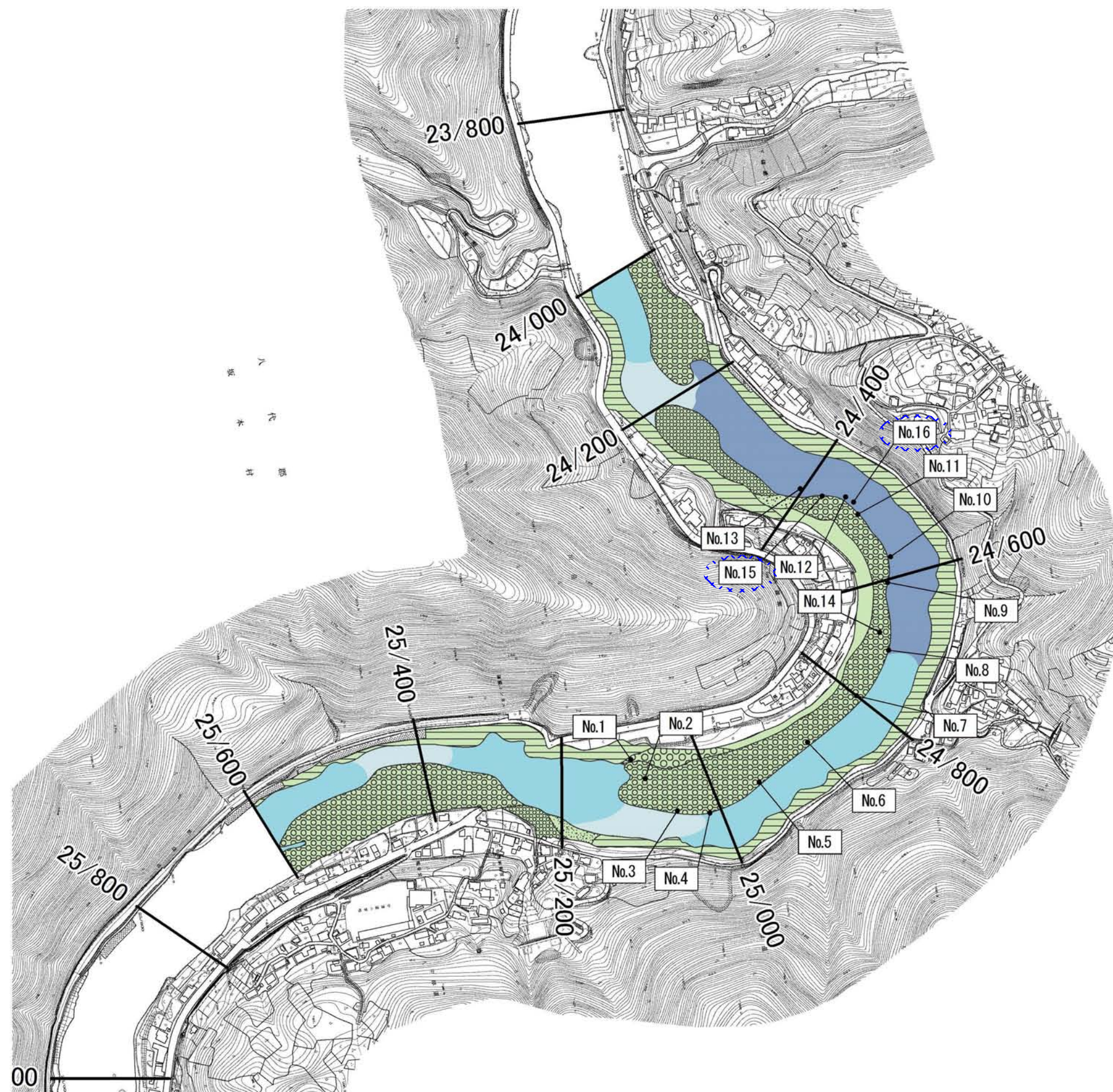


河川物理環境情報図（与奈久）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	No.	H25.9	H26.3	H27.3
1				6			
2				7			
3				8			
4				9			
5				10			

・ H25 年 9 月→H26 年度で大きな変化は見られなかった。

河床材料の変化（与奈久）



河川物理環境情報図（西鎌瀬）

No.	H24.4	H26.3	H27.3	No.	H24.4	H26.3	H27.3
1				7			
2				8			
3				9			
4				10			
5				11			
6				12			

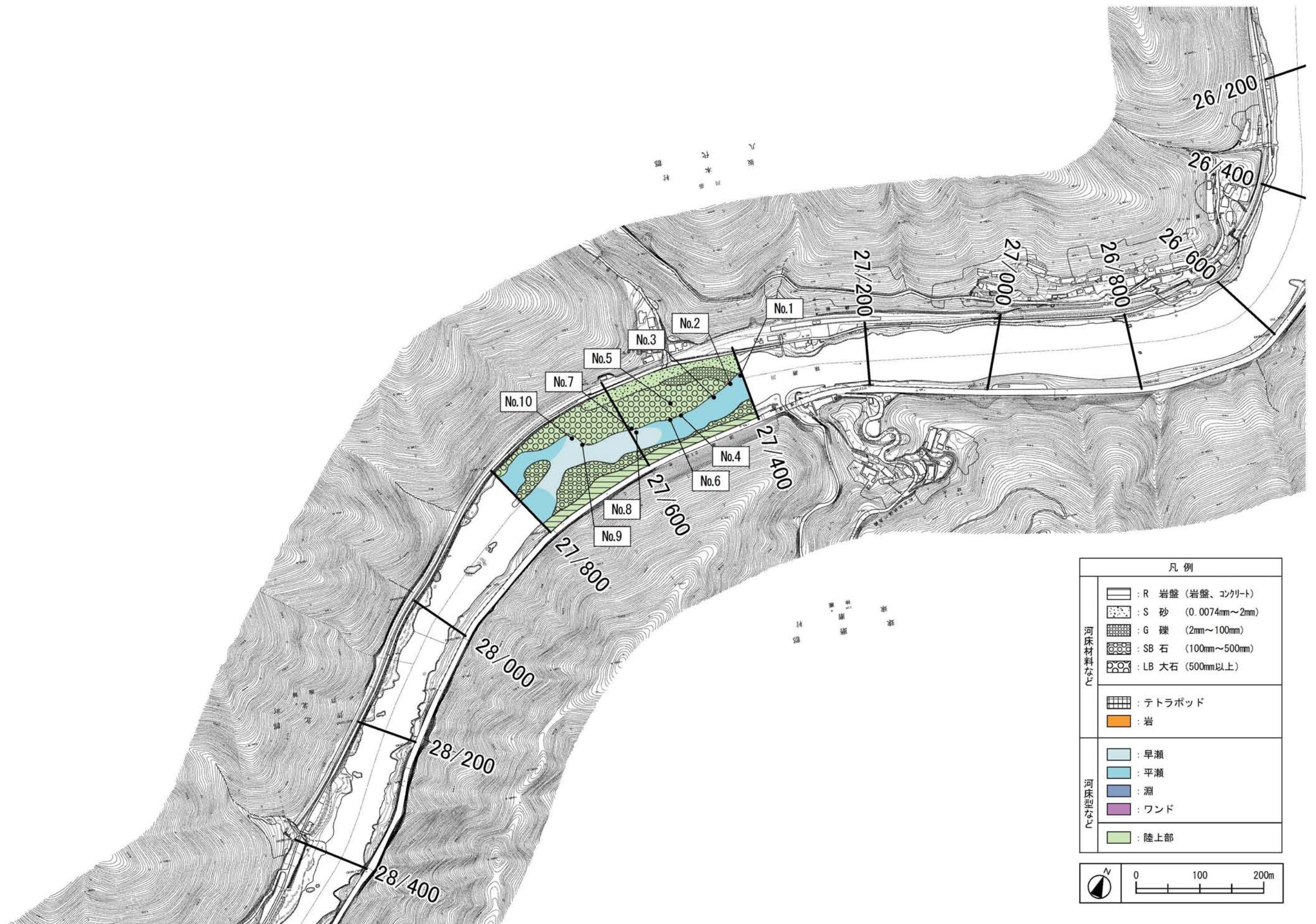
・H25 年 9 月→H26 年度で大きな変化は見られなかった。

河床材料の変化（西鎌瀬 1）

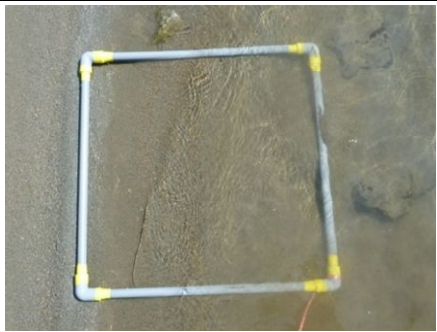
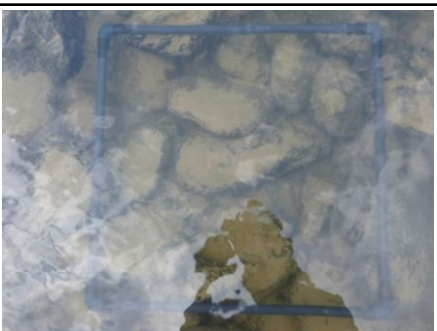
No.	H24.4	H26.3	H27.3
13			
14			
15			
16			

- ・ 15 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で粗粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、粗粒化の状態を維持。
- ・ 16 : H25 年 9 月→H26 年 3 月で細粒化。H25 年度→H26 年度は変化見られず、細粒化の状態を維持。

河床材料の変化（西鎌瀬 2）



河川物理環境情報図（瀬戸石ダム下流）

No.	H26.3	H27.3	No.	H26.3	H27.3
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

・ H25 年度→H26 年度で大きな変化は見られなかった。

河床材料の変化（瀬戸石ダム下流）